

地域・家庭・学校が一体となって教育の実践を！

小田原市立早川小学校

学校運営協議会だより

平成31年2月28日発行 (第3号)

発行者 早川小学校運営協議会

第3回の早川小学校学校運営協議会が、2月19日(火)に開催されました。今回の会議では、報告事項として、次の3点(1)「未来へつながる学校づくり」(2)後期学校評価の結果(3)全国学力学習状況調査の報告が学校からありました。そして、委員の方からご意見をいただきました。その後、学校運営協議会の具体的な方策の取組の成果について協議しました。最後に、次年度の学校グランドデザインについて学校長から説明があり、承認されました。

1. 報告事項について

(1)「未来へつながる学校づくり」について

「ふるさと早川の良さを学び、豊かに関わる心と力を育てる学校づくり」というテーマ研究に取り組みました。その成果として、次の3点の成果があげられました。

- ・「慣れ・親しむ・生かす」の連続的な学びができる外国語活動の授業づくりとして、児童が日常生活する場所に「数字」「教室・場所名」「月」など英語に読み方を添えて貼り、児童が進んで見たり読んだりして親しむことができるの環境を整えました。(写真参照)
- ・学校林をはじめとした木育教育の一層の充実として、今まで5・6年生を中心に活動していましたが、今年度は、昨年度PTA学校林から切り出した丸太を輪切りにし、そのプレートに自分の名前や将来の夢を全校児童一人一人が書きました。学校林の木を全校児童に周知し、活用することで、学校林への親しみが増しました。
- ・学年園を活用した地産地消や食育活動の充実では、各学年が栽培収穫した作物は調理実習で活用しました。

(2) 後期学校評価の結果(保護者には1月28日付けで配付済み)

・アンケート項目の6項目が、A評価60%を満たしていませんでした。これらの項目については、さらに学校の取り組みを発信する機会を増やし、保護者や地域の方のご意見をいただきながら改善を図ります。

(3) 全国学力学習状況調査の報告

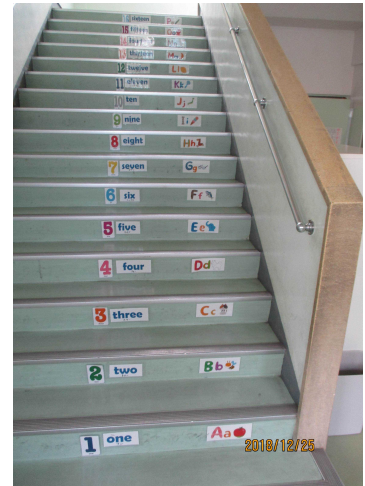
- ・全国学力学習状況調査の結果は、おおむね国語、算数とも全国平均値と同じであった。
- ・全国学力学習状況調査は通常学級で実施している問題と異なり、戸惑う場面が見られたり、時間内に問題が全部終わらない児童がいました。

そこで、文字に慣れ、問題を理解するために、読書タイムの充実や教師による読み聞かせ、ブックバッグの活用(いつでもすぐに読書ができるように手提げ袋に本を入れて机の横に掛けて置く。)などを行うことにしました。

- ・国語では、漢字の問題として、学校ではひらがなを漢字に書かせることが多いが、今回の状況調査では、訓読みしている漢字と同じ音読みの漢字を探す問題があり、問題の形式に慣れておらず、正解を求められない児童もいました。今後は、音訓に関連づけた指導にも力を入れていきます。
- ・算数では、計算はよくできていた。計算タイムの効果だと思われる。しかし、記述式が弱いので、考える場面を今後もより授業で取り入れていきます。

【学校運営協議会委員さんからのご意見】

- ・学校評価のいじめや不登校の未然防止については、個別の対応が必要と考える。困っている当事者にいていねいに対応できるように努めてほしい。そのためにもアンケートの採り方も検討してほしい。
- ・おおむね良く取り組んでいる。細かい項目で評価するより、大きな視点での評価も検討すべきである。



2. 学校運営協議会の具体的な方策の成果についての協議内容

早川小学校学校運営協議会のめざす目標

「思いやりを持ち 未来を共に創ることができる早川っ子の育成」

(1) 学校運営協議会保護者アンケート結果について(家庭数で別途配布) 報告

①提出状況

- ・家庭数(対象総数) 138名 提出数 106名 76.8%
- ・提出状況 1~3年 42.9% 4~6年 76.7%~97.2%

②あいさつ運動の強化について

- ・無回答 9名 8.5%
- ・AとBを合わせた肯定的な評価は、75.4%でありおおむね家庭で取り組んでいただいている。

- ・学年別で考察すると、1～3年で肯定的な評価ははだんだん減少しており、3年では、AとBを合わせた肯定的な評価は、50%まで減少している。4～6年では80%までになっている。
- 下学年では家庭での指導の割合が大きく、上学年では、子ども達が集団での責任ある立場になるなどして意識が向上してきていると考えられる。

③世代間交流について

- ・無回答 13名 12.2%
- ・AとBを合わせた肯定的な評価は、64.2%であり、世代間交流の意識はまだ少ないようである。

(2) 目標達成のための具体的な方策（重点項目）の最終評価について協議

今年度、運営協議会として具体的な取組を決めて、進めてきました。今回の運営協議会では、その取組の成果を考察しました。次年度の取組に反映していきたいと考えています。

①あいさつ運動の強化について

【学校運営協議会委員さんからのご意見】

○成果

- ・地域の方と一緒に挨拶運動ができるようになった。
- ・児童と顔見知りになった。
- ・地域の方や子ども達、職員も挨拶ができるようになった。
- ・主催するイベントでも挨拶や声かけができていた。
- ・高学年の挨拶がよくできるようになった。

○今後の取組（課題）

- ・家庭・学校・地域のより一層の連携を図るためにもこの運動は継続したい。
- ・地域・学校・諸団体が呼びかけ、取り組み始めた段階なので焦らず継続していく必要がある。
- ・挨拶できない子にも声かけしていきたい。
- ・地域に広げるためにも、まず家庭からも行っていきたい。

②世代間交流への参加について

○成果

- ・敬老会への参加、子ども達にも自信がついたと思う。
- ・敬老会の児童の参加をお年寄りには楽しみにしている。
- ・1年生の昔遊びで知り合いになり、挨拶運動にも繋がった。
- ・地域行事がわかり、参加する意識が見られるようになった。

○今後の取組（課題）

- ・いろいろな行事がある。行事を見直しをすることも必要である。
- ・運動会・体育祭の同時開催について検討できないか。

③早川小学校の環境整備（学校周辺の樹木伐採）について

○成果

- ・樹木の伐採ができ、明るくなった。
- ・樹木の伐採と同時にフェンス近くの除草もできて良かった。
- ・スポーツ少年団の児童が参加してくれて良かった。大人だけでなく自分たちの学校という意識が持てたと思う。

○今後の取組（課題）

- ・継続していきたい。時期については2月ぐらいが良いのか。
- ・早川地区在住の人にも今年度と同じように呼びかけたい。
- ・予算についても考えたい。

3. 平成31年度 早川小学校 学校グランドデザインについて

校長より、学校経営に係る基本方針、学校運営に係る基本方針、学校教育目標について説明があり、承認されました。

○学校経営に係る基本方針

- ・人づくり…学習・生活のしつけをしっかりと行い、常識や礼儀を身につける。
- ・集団作り…お互いのよさを認め、考え合い、励まし合い、高め合える言動を身につける。
- ・連携作り…歴史と伝統を大切に、和やかな協力・支援の関係がつけられる態度を育てる。
- ・組織づくり…若手とベテランのお互いのよさが生かし合える温かな働き方を身につける。

○学校運営に係る基本方針

- ・関わり合う力のもとになる力を確実に身につける実践を進める。
- ・関わり合う力が育つ教育課程を編成し、評価・改善を進める。
- ・関わり合う力が多面的に育つ体制づくりを確立する。（地域コーディネーターとの連携）

↓
「チーム早川」になって、共通理解・共通指導ができるようにする。

○学校教育目標

「夢を持って共に学び、未来を共に創ることができる児童の育成」

児童、教職員ともお互いの顔が見え、考えがわかる、気持ちの通った学校づくり

* このたよりは、早川小学校ホームページ（カラー）にも掲載されています。



＜写真 学校長による学校グランド
デザインの説明＞

2月3日に実施